

大野もとひろプロフィール

埼玉県川口市生まれ。慶應義塾大学卒。国際大学修士課程修了。中東調査会上席研究員、中東諸国の大使館勤務などを経て、東京大学、青山学院大学大学院、日本大学などで教鞭をとる。イラク戦争時には衆議院で参考人として「イラクの大量破壊兵器は外国に脅威を及ぼさない」と発言し一石を投じる。企業経営のかたわら、世界最大の社会奉仕団体ライオンズクラブで史上最年少のガバナー（埼玉県の代表）としてボランティア活動に従事。平成22年参議院埼玉県選挙区で初当選後は、「動的防衛力構想」を構築した平成23年防衛大綱起案に関与し、党ネクスト防衛大臣として日本の領土領海を守る「領域警備法案」を起草。平成24年防衛大臣政務官兼内閣府大臣政務官。2期目在任中の昨夏、埼玉県知事選挙に挑戦。見事勝利し現在1期目。就任後、公約として掲げた5大プロジェクトの一つ「埼玉版スーパーシティ構想」の実現に向けて奮闘中。学生時代はアメフト、柔道（初段）、水泳に没頭。落語や音楽が好きな3人の子どもの父親。祖父は元川口市長の大野元美氏。



テレビ埼玉の正月恒例番組「第29回埼玉政財界人チャリティ歌謡祭」に出演



<https://www.onomotohiro.jp>

大野もとひろ後援会報

FRONT LINE

フロントライン
第2号
令和2年9月1日発行

日本一暮らしやすい埼玉の実現を

不断の努力で734万県民の命を守る

ワクチンも特効薬も存在しない新型コロナウイルス感染症。現在でも世界中で猛威を振るい続けています。この脅威から734万人の埼玉県民を守るため、埼玉県知事大野もとひろは持ち前の突破力とアイデアを活かし、不断の努力を続けています。



テレビ取材を受ける大野知事

全国に先立ち相談窓口 陽性率は全国最低レベル

中国武漢市で発生した原因不明のウイルス性肺炎のニュースが目立つようになった今年1月24日、県民の不安や疑問にしっかりと答える必要を強く感じた大野もとひろ知事は、国や他の都道府県よりも早く24時間体制の相談窓口を設置しました。

2月には県内でも患者が発生する事態を迎え、これまでの対策会議を特措法に基づく対策本部会議に格上げするとともに、補正予算の編成、県主催イベントの中止・延期、融資枠拡大による中小企業への支援などを矢継ぎ早に打ち出します。

その後3月には、対象範囲を国の基準より広く設定したPCR検査対応方針の策定、県内外の感染症の専門家からなる「新型感染症専門家会議」の設置、患者の症状に応じて入院先などを一元的に調整する「感染症県調整本部」の設置を次々に行い、感染拡大への備えを進めました。この結果、埼玉県のPCR等検査の累計は東京、大阪に次ぐ全国3番目、1日1000件以上検査している都道府県での陽性率は、全国最低レベルで推移しています（8月17日現在）。

コロナ専用病床を独自支援 クラスター専門チームも

4月に入り事態は緊迫の度を増します。7日、国の緊急事態宣言発令を受け、不要不急の外出自粛や大勢が参加するイベントの開催自粛などを内容とする緊急事態措置の実施を発表。人の移動に伴うリスクを軽減するための対策を講じました。

しかし、陽性患者数が増加する中、埼玉県でも自宅療養をされていた方が2人お亡くなりになりました。二度と繰り返してはならないと痛感した大野知事は「他の都県で自宅療養者がお亡くなりになった事例を事前に知っていたならば」と思い、あらためて国に対し県を越えた情報の共有を強く求めました。

ポスター掲示協力をお願い

大野もとひろの最新ポスターができました
ご自宅の塀、駐車場、アパート、空き地、畑などに
ポスターをご掲示いただける方は

大野もとひろ後援会事務所
TEL 048-271-5252 までご連絡ください。



『大野もとひろと日本一暮らしやすい埼玉をつくる会』開催中止のお知らせ

お申し込みいただいた皆様には、4月開催を延期する旨をご案内させていただきましたが、今後も多くの個人・法人の皆様が長期に渡り新型コロナウイルスの影響を受けざるを得ない現状を鑑み、発起人の皆様ともご相談の上、中止とさせていただきます。

皆様の日常生活や経済活動に明るい兆しを感じられるようになりましたら、あらためて大野もとひろと親交を深めていただく機会を設けたいと存じております。

皆様が安心して一刻も早く元の生活に戻れますよう、引き続き必要な措置を講じて参りますので、今後も大野もとひろへのご指導・ご鞭撻、並びに大野県政へのご理解とご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

「大野もとひろと日本一暮らしやすい埼玉をつくる会」事務局

● 大野もとひろ後援会事務所 ●

〒332-0017 埼玉県川口市栄町2-1-11 ブランズ川口栄町パークフロント103
TEL: 048-271-5252 ホームページ <https://www.onomotohiro.jp>
FAX: 048-271-5200 E-mail: saitama@onomotohiro.jp